



会 議 録

八幡市教育委員会

開 催 日 時	令和4年7月12日（火曜日） 午後2時15分～午後2時45分		
場 所	分庁舎2階 会議室A		
出席委員名	小 橋 秀 生（教育長） 橋 本 陽 生（職務代理者） 佐 野 恵理子	八頭司 めぐみ 狩 野 理恵子	
委員を除く 出席者の 職 氏名	部付 部長 田 中 孝 治 部 次 長 川 中 尚 部 次 長 佐 野 泰 博 （生涯学習センター館長事務取扱） 教育部参事 高 瀬 栄津子 教育総務課長 長 尾 忠 行 学校教育課長 西 岡 賢 治	保育・幼稚園課長 成 田 孝 一 教育支援センター所長 濱 田 将 行 学校教育課主幹 有 野 靖 一 学校教育課主幹 四 本 篤 史 文化財保護主幹 八 十 島 豊 成 教育集会所主幹 田 原 麻 衣 教育総務課主幹 西 田 秀 美 社会教育課補佐 荻 野 哲 也	
<p>1. 開 会</p> <p>2. 議 題（協議事項） （1）八幡市の教育行政について</p> <p>3. その他 ・園、学校訪問について</p> <p>4. 配布資料について ・きょうとふの教育 No.150 ・6月分議事録（写し）</p> <p>5. 閉 会 ※次回定例教育委員会 日時：9月13日（火）午後3時から 場所：分庁舎2階 会議室A ※学校訪問先 美濃山小学校（10：30） 有都小学校（11：30）</p>			



	内 容
[教 育 長]	<p>1. 開 会</p> <p>それでは、令和4年7月度の定例教育委員会を開催いたします。</p> <p>今回、報告事項は無い旨、事務局から聞いておりますので、2. 議題に入らせていただきます。</p>
	<p>2. 議 題（協議事項）</p> <p>(1) 八幡市の教育について</p>
[橋 本 委 員]	<p>(1) 「八幡市の教育行政について」、を議題といたします。</p> <p>本日、案件はございませんが、委員の皆様からご意見・ご質問等、何かございますでしょうか。</p>
[橋 本 委 員]	<p>質問事項なんですけれども、コロナが第7波に入ったのではないかなというようなことを、お聞きしているわけですけれども、この辺りの影響、既にどのような状態になっているのかをお教えいただきたいと思います。今までの従来の対応と、また新たに違う対応があるようであれば、教えていただきたいと思います。</p>
[川 中 次 長]	<p>コロナの対応でございますけれども、現在、先週からですけれども、美濃山小学校で1学級、学級閉鎖、それから今週に入りまして、男山中学校で1学級、学級閉鎖、というような状況にはなっております。徐々に増えてきているなというような状況と共に、教職員の感染も少し出てきておりますので、今現時点では、特に学校の体制上、何か問題があるということはありませんけれども、今後、注視していきたいというふうに思っているところでございます。1点、気になっているのは、家庭内での感染、特に教職員の家庭内での感染が、子どもさんからもらう状況が多いのかなというのと、それから、感染経路不明が少しずつですけれども増えて来ているのかなというのが、今の現状かなと認識をしているところでございます。</p> <p>対応につきましては、この4月に「学校の新しい生活様式」ver 8が出ておりますので、基本的な対応としては、今年度3月に学校の方に通知しております対応と、大きく変えてはおりません。</p> <p>あと、いくつかですけれども、この1学期の間で、部活動の中での感染の広がりがあるというケースが、いくつかみられてはいます。大きなケースになっているわけではございませんけれども、暑さによるマスクの感染対策も含めて、どうしても人と接触するようなクラブ活動、スポーツ系のクラブ活動でありますとか、そういうものについてはどうしても広がりがあるのかなというふうに認識をしているところです。先ほども申しましたけれども、基本的な対応の変更はございません。あと残り1週間、なんとか持ってほしいというのが、正直な私の気持ちでございます。以上でございます。</p>
[教 育 長]	<p>他にご意見・ご質問等ございませんか。</p>
[狩 野 委 員]	<p>ありがとうございます。今のに関連してなんですけれども、マスクと熱中症の対策ということで、今日、学校の方で、随分、ピリピリされているんやなっているようなこと、感じた次第ですけれども、教育委員会としてはどのようにご指導されているかっていうことを、お聞かせください。</p>
[川 中 次 長]	<p>マスクの対応でございますけれども、既に何回か学校の方には、この熱中症の絡みで、国の指針に基づいて、屋外で発声の無い場合及び1メートル程度離れている場合については、基本的に外すように、特に、登下校については出来る限り外すように、という指導をしてきているところではございます。ただここの難しいところが、外せと言っても子どもが外さない時に、無理矢理、強制的に外せるのかってところが、学校としても非常に悩ましいところです。この約3年間、マスクをずっと着けてきておりますので、どうもやっぱり、学校現場からの話を聞いていると、子ども達がマスクを外すのが恥ずかしいというような声も、正直なところ聞いております。その辺りも含めて、子ども達の気持ちなり、そういうものを大事にしながらかつ、やはり熱中症の対応がありますので、特に、体育の授業等について</p>



は、必ず外すようにという形をお願いをしているところにはなっています。

それから、ただ、今回、実は先ほども言いましたけれど、学校の中で少し流行り出してくると、体育の授業においては、例えばその期間、保健の授業に振り替えるというような対応を取っていただいて、マスクの部分についてはどうしても、確実にこの熱中症があるから外せっていう形は、中々、行かない現状もあるかなと思ってはいるところです。子ども達の気持ちを考えながら、基本的には、外せる時には外していく。これは、教職員も含めてそんなんですけれども、そういうふうな指導については、引き続き、して参りたいというように考えております。

[狩野 委員] どうもありがとうございます。幼稚園や保育園の方では、どのようなご指導をされているのか教えてください。

[成田 課長] 失礼いたします。幼稚園、保育園でも国の指針に基づいて、無理には付けさせないというところと、あと学校と同じで、屋外であれば原則、付けないと、職員についても屋外であれば外させていただきますというお手紙を、各保護者に出してご理解をいただいているところでございます。

[狩野 委員] どうもありがとうございます。特に、プール活動をする時に、昨年度も、先生が一番、マスクで困っていると、息が出来ないということを知っていましたので、保護者にもそういうように承知されているんやったら、先生もまだちょっと楽に出来るのかなっていうこと、思いましたので、どうもありがとうございます。

[教育 長] 他に何かご意見等ございませんか。よろしいですか。それでは、無いようでありますので、議題を終結いたします。

次に、3. その他に入らせていただきます。

本日の「学校訪問について」、ご意見等何かございませんでしょうか。

3. その他

・園・学校訪問について

[狩野 委員] 失礼します。本日は、中央小学校と男山第二中学校を訪問させていただきました。どちらの学校もすごく落ち着いて、学習に向かっているなっていうところ、感動してきました。特に私自身が、男山第二中学校と関わることっていうのが、現職時代、かなり長かったもんですから、男山第二中学校のいろんな姿を見てきておりますので、本当にきちんと授業に向かっている。そして、廊下ですれ違うと挨拶をする。学校が、お花等も植えられてまして、本当に気持ちの良い教育環境を作っているっていうのが、正直、今日も感じてきたところです。

本当に今、働き方改革等で先生方がどれだけ残って仕事をするかっていうところで、校長先生もすごくご苦労されてるんやなっていうことを思ってるんですけど、実際、八幡市では、どの程度、先生方の勤務時間というか、働き方改革が進んでいるかっていう辺り、教えていただけたらなと思います。

[川中 次長] すみません。時間外の資料、今日は持ってきておりませんので、具体的な数字については、少しお話しすることが出来ないんですけれども、この間、なんていってもコロナやったんで、かなり減ってはいますが、コロナがあけてからはやっぱり、大きくなる傾向はあります。平均すると、月に、小学校で概ね30時間から40時間の時間外、正確な数字はお示し出来ませんが、中学校で大体、40時間から50時間位の時間外です。

時間外自体をどう捉えるかっていうところが、非常に難しいところはあるんですけども、それぞれ個々の先生方の状況によっても違いますし、なかなか一定に進んでいくものではないかなと、教育委員会といたしましては、まずは出退勤の勤務時間の管理と記録というところで、要は、学校に来た時間、それから学校を出る時間をICカードによって管理をしていく。それによって、八幡市の場合は、朝の時間も放課後の時間も、両方とも時間外として認識しておりますので、ですから、7時に来られた先生だと8時半まで1時間半時間外勤務をしておられるわけですね。それもきちんとカウントして、それを毎月、校長先生に、この先生は何時間、時間外してますよって、明示をさせていただきながら、校長先生の方から



ご指導いただいているというふうな状況になっています。学校の方から聞くとところによると、一昨年度に入れました自動応答電話ですね、小学校で5時以降、中学校では6時以降、自動的に電話が学校にかからないようになるんですけど、これは、非常に働き方改革にとって有効であるというようなことは、現在、聞いているところでございます。

引き続き、働き方改革の問題については、取り組みを進めて行かなければならないんですけども、少しちょっと聞こえてくる言葉の中に、先生方がもともと、本当にしたいことが、要は、子ども達のために教員になった訳ですから、先生方がやりたい、思いとしてやりたいっていうことは、やれる環境っていうのは、私ども当然、用意はしていきたいなと思っていますところですよ。

昨今、いろんな形で在宅勤務であるとか、持ち帰りの時間なんていうのもあるんですけど、現状は、八幡市の場合、持ち帰りは基本的には出来ない、コンピューター自体が中で止まってしまってますので、その部分を今後、どうしていくのかっていうのは、一つの考えて行かなければならない、検討課題ではないかなというふうに思っているところですよ。

[教育長]

他にご質問・ご意見等ございませんか。

[佐野委員]

失礼します。今日、中央小学校と男山第二中学校を訪問させていただいて、本当に、今、狩野委員がおっしゃったみたいに、すごく静かで、中央小学校もすごく落ち着いておられて、すごくきれいで、特に思ったのが、手洗い場のステンレスは水滴もなくピカピカになっていたこと、コロナ対策として清掃も入っていらっしゃるんですけども、お昼前でしたけれども、保たれているっていうのが良かったなっていう感想ですよ。

男山第二中学校においては、校長先生が初めて校長になられて、赴任されてっていう、いろんな思いをお聞きした中で、一つ心配されているのが、若い教員が多いと、その中で、クレームが無い保護者に対して、何も言ってくるから、ここの家は、この子は大丈夫やっていう安心感を持ってしまってる教員が多くて、その中その裏がどうかっていうところまで探っていけないところ、そういうところはすごく心配やなって、教師力を付けて行きたいなって思いを語っていただきました。

中央小学校に戻るんですけども、支援が必要な子ども達のクラスが5クラス、八幡市の小学校の中で障害児のクラスがすごく多くて、4クラス、5クラスの学校が、今までの学校訪問の中でもたくさんあります。先日、八幡支援学校の学校運営委員会に参加させていただきました、校長先生のお話の中で、山城の支援学校の中で唯一、八幡支援学校だけが小学部が減ってるっていうお声を聞きました。というのは、公立小学校にこれだけたくさんクラスを作ってください、公立の小学校で支援が必要な子たちもみていただいているっていうのが、支援学校に行くと初めて数字を見て納得しまして、八幡市の教育委員会の方々、教員の先生方がすごく頑張っているやなと思います。大変かと思いますが、やはり、そういう子たちも同じ環境で授業を受けて、学校生活を送れるっていうのを、これからも続けていただけたらなと、学校運営委員会に出てつくづく思いましたので、またこれからも、そのへんを引っ張っていただければと思います。今日はありがとうございました。

[川中次長]

ありがとうございます。特別支援教育なんですけれども、おっしゃっていただいたとおり、この間、かなり力を入れて充実を図ってきたところですよ。多分、京都府内の市町の中でも、通級指導教室を全ての小学校、中学校に持っているっていうのは、あり得ないというか、少ないのではないかなと、当然、担当の指導主事も含めて、本当にきめ細かく頑張っているところではあるんですけども、今後ですね、増えていくと、特別支援教育を担当する教職員の質の担保ってところが大きな課題になるかなと、私共、思っております、当然、数が増えればそれだけ専門的な教員が必要になってきますので、研修等も含めて出来る限り早急に、ここは対応して行かなければならないというふうには思っているところですよ。

国の方でも、採用後10年以内に特別支援教育を複数年経験するという方向性が出されて



[佐野 委員]

おりますので、ただ、それで、新たにポンって行って、そのままきちんとした特別支援教育が出来るのかどうか、非常に不安なところもございますので、教職員の質の担保については、今後も私共、きちんと見ていきたいというふうに思っております。

ありがとうございます。すごく詳しくて分かりやすかったです。今日いただいた、資料の中にも、特別支援教育指導教諭が小学校の支援というところで取り上げられているのを拝見させていただいて、八幡市がすごく努力されているというのを、これを見ても数字と一緒に感じました。もう一つ支援学校の校長先生がおっしゃっていたのは、小学部・中学部は、山城の中で八幡市だけが減っていて、逆に高校が増えているというのを悩まれているのも、これからの課題かなと思いつつながら、八幡市の教育はすごく目に見えて良かったと思いました。ありがとうございました。

[教育 長]

他にご意見等ございませんか。

[橋本 委員]

私も感想程度くらいしか言えないんですけども、中央小学校の方ですけども、ここで注目しておりますのは、早稲田大学の田中先生のご指導の成果が、どのように浸透してきているかなというような辺りです。校長先生も非常にその辺りは積極的でありまして、従来の教育の成果を積み上げてきていただいているというようなことで、実際にですね、他の資料等にも発表されていると思うんですけども、レーダーチャートですね、具体的にはね。今までは、その時にデータを取ったものを後で集計して、そしてまた返すと、こういうところが、やはりタブレットを入れたことによってですね、瞬時にその場で、入力したものをその場で返して、話し合いに繋がれると、こういう指導法の大きな、これ一番大事な部分だったと思うんですけども、非常に臨場感があり、スピード感があって、その場で、その都度、自分たちで出したものが、現状を共有して、そして話し合えるというこの辺りの深い学びに繋がる効果ですね、この辺りのところが積み上げられていっていると、より積極的に一歩前進していくと、ICT教育との成果も踏まえて非常に注目したところでもあります。また、9月15日には、田中先生にご指導いただく場があると思っておりますので、出来たら見学をさせていただきたいというふうに思っております。

何よりもやはり教育は、やはり人、特に校長先生の導き次第で大きく変わっていくという話がありましたけれども、地元でずっと長くやってこられて、実態を知っておられて、そして子ども達とその時代の保護者だけでなく、ずっと過去の人間関係、あるいは地域との関連、これをこう丸ごと活かしながら学校経営をされていると、この辺りのすごさというのか、深みというのか重みというのか、八幡市にあった子ども一人一人を大切に、そしてそのへんを積み上げていくという大事な部分を痛感したところであります。

それから、働き方改革についてでありますけれども、やはり校長先生の、教職員のやりがいと、あるいは雰囲気という辺りのところに、非常に心を配っておられるというところがですね、学校経営のすばらしさかなと思って帰って参りました。

それから、男山第二中学校ですけども、今年新しく校長先生におなりになって、今は現状把握で、次、何しようかっていうところを模索されていると、非常に頑張っておられる姿を拝見いたしました。だからそういうふうな中で、先生、お困りのことは何かないですかと、あるいは、教育委員会としてできることはないですかと、雑談的にお話をしていたんですけど、やはり、ずっと現場を離れておられたせいかもしれませんし、当たり前なんですけど、校長になった者はやはりマネジメントということについてはね、やはりなかなか難しい面もあると思います。人事の面もしかり、周りのコミュニティスクールじゃありませんけど、特に、男山第二中学校の場合は、地域の方々も活発ですね、積極的にご参加いただいと、もしそこが積極的でなくなった時に、どのようにマネジメントするかっていう、これは一挙に求められる訳で、この辺りのところはやはり校長としてもうちよっと勉強しているかなあかな、ということ謙虚におっしゃってましたけれども、是非、そういう面ですね、これも既にやっておられる部分かと思っておりますけれども、管理部門のマネジメント、学校経営という、特にここ、更に問われているところかと思っておりますけれども、こういう面でのマネジメントをですね、どの校長先生も悩まれているし、なかなか、ご相談しにくい部分も場



[教育長] [狩野委員]	<p>合によってはあろうかと思しますので、この辺りのところ、ご援助いただくようなシステムがあればなというふうに思っております。以上でございます。</p> <p>他に何かございませんか。</p> <p>度々、失礼します。今日、中央小学校を訪問させていただいた時に、最後に校長先生が、就学前の教育との繋がりをもっと幅広くやっていきたい、というようなことをおっしゃってました。南ヶ丘保育園と南ヶ丘第二保育園とは今までから深く繋がって、連携をされているかと思うんですけども、もっともっと幅を広くして交流したり連携したり、組織的な取組をしていきたいというようなことをおっしゃってくださって、ものすごく子どもの成長を繋げていくという意味では、大事なことをおっしゃってくださったなというふうに感じております。</p> <p>ここからは、ちょっとPRになるんですけども、京都府の方で、今年度の京都府幼児教育研究協議会が8月17日から10月31日までオンラインで行われます。今年の講師の先生が、元文部科学省の視学官でもいらっしゃるって國學院大学の教授でいらっしゃる架け橋特別委員会の田村先生がしてくださるといことで、私も非常に楽しみにしているんですけども、あちこちの市町で聞いていますと、就学前の教育は小学校とどう繋がっていかうかということ、一生懸命に出るんですけども、小学校からは、なかなか就学前の教育との連携、接続がうまくいかないという悩みを聞いております。是非、今年度、結構長い期間、8月17日から10月31日ということ、田村先生の講演を聞けますし、それから今年度の研究発表が、下京雅小学校が研究発表されますので、是非、小学校の先生にも聞いていただいて、参加していただいて、子ども達の健やかな成長のために、接続部分を頑張っていたらと願っておりますので、幼稚園、保育園、子ども園はもちろんのこと、小学校にもアピールしていただけたらありがたいなと思います。よろしくお願ひします。</p>
[教育長]	<p>他に何かご質問等ございませんか。よろしいですか。無いようでありますので、3. その他を終結いたしたいと思ひます。</p>
	<p>次に、配布資料について、事務局より説明願ひます。教育総務課。</p>
	<p>4. 配布資料について</p>
[長尾課長]	<p>本日の配布資料は、きょうとふの教育No.150 と6月の議事録の写しでございます。以上です。</p>
[教育長]	<p>次に、「次回定例教育委員会の日程について」、事務局より説明願ひます。教育総務課。</p>
[長尾課長]	<p>次回の教育委員会の日程です。9月13日火曜日、午後3時から分庁舎2階、会議室Aで行います。学校訪問につきましては、10時30分から美濃山小学校、11時30分から有都小学校となっております。以上です。</p>
	<p>5. 閉会</p>
[教育長]	<p>以上をもちまして、7月度の定例教育委員会を閉会させていただきます。ご苦勞様でございました。</p>